

中間圏・熱圏・電離圏(MTI)研究会会合

5月30日(木) 12:30~13:30@A03

話題提供:

1. PWINGプロジェクトによるサブオーロラ帯での大気光観測の現状(10分)
塩川和夫(名古屋大学 宇宙地球環境研究所)
2. Mid-latitude SuperDARN review paper(5分)
西谷望(名古屋大学 宇宙地球環境研究所)
3. SuperDARN Workshop 2019(5分)
中溝葵(情報通信研究機構)
4. STE現象報告会のご案内(5分)
阿部修司(九州大学 国際宇宙天気科学・教育センター)
5. 来年度JpGUにおけるMTI関連セッションについて(5分)
Huixin Liu(九州大学)、大塚雄一(名古屋大学 宇宙地球環境研究所)
6. SGEPS秋学会における学生発表賞審査員のお願い(10分)
西山尚典(国立極地研究所)
7. MTI関係の衛星計画の状況(5分)
齊藤昭則(京都大学)
8. 民間・実利用衛星への宇宙天気センサー(大気光イメージャー)搭載計画について(3分)
坂口歌織, 津川卓也(情報通信研究機構)
9. URSI分科会報告
山本衛(京都大学 生存圏研究所)
10. 今年度のMTI研究集会について(5分)
富川喜弘(国立極地研究所)

2019年度 中間圏・熱圏・電離圏研究集会について

日程：9月10日（火）－13日（金）のうち3日間

場所：京都大学生存圏研究所

主催：名古屋大学宇宙地球環境研究所、
国立極地研究所、情報通信研究機構、
京都大学生存圏研究所

内容：

- －若手発表中心（口頭・ポスター）
- －他集会との合同開催
（現象報告会、衛星、IUGONET）
- －MUR・EARシンポジウムとの連続開催



MTI Hand-Bookの現況

- MTI Hand-Bookは、大学院生・若手研究者が研究を行う際の一助となるような日本語資料を作成する目的で、中間圏・熱圏・電離圏(MTI)研究会で行われた口頭講演を第三者がレビューし、一般に公開している
- H18-21年度のMTI研究会の講演をもとにしたものに加え、H30年度の講演をもとにしたものを作成中(1件公開済)
- MTI Hand-Bookの出版形態について議論中

http://mti.nict.go.jp/MTI_symposium/mti-handbook/top/